



## 江川 俊明 (Shunmei Ekawa)

- 2018年4月 東京工業大学 環境・社会理工学院 入学
- 2022年3月 東京工業大学 環境・社会理工学院 卒業・同大学院入学  
グローバル理工人育成コース中級 修了
- 2022年6月 MITオンライン語学タンDEM 参加
- 2022年8月 タイ カセサート大学 派遣交換留学 (4ヶ月)
- 2024年3月 グローバル理工人育成コース上級 修了予定

### 講演タイトル： 『ほんの少しの「面白そう」と「やってみよう」から広がる世界と人との繋がり』

振り返ってみると、私の学生生活での出来事の多くが「なんだか面白そう！」とか「ちょっと気になるから、とりあえずやってみるか！」から始まったものばかりだと実感しています。正直、入学時点から大きな目標とか決意とかそういうものは全くなかったわけですが、その分自分の中での興味と好奇心には素直に動いてきた結果、いろいろなことが付いてきたなと実感しています。グロ理も最初から「絶対に上級まで修了しよう」とう意気込みで所属したわけでは全くなく、「色んな講義やプログラムがあってちょっと面白そう」という少しの興味から始めたのが正直なところですが、実際に様々な講義やイベントに参加していくうちに、自分が「楽しい！」と思えることや「やってみよう！」と思えることが分かるようになってきました。グロ理という良い“機会”を活用してただ夢中に飛び込んでいった結果として、予想外の学びと経験と、おまけに“修了”を得られることになりました。

もちろん、新しいことを始める際には悩むことや気後れすることも多々ありますが、「周りの人にきちんと頼ること」と「自分が納得できるやり方で決断すること」で、全ていい方向に転んでいったと実感しています。

シンポジウムでは、これまで私が「どのようなモチベーションで色々な機会に飛び込んできたのか?」「プログラムや留学を通して何を学び、どのように感じたのか?」などについてお話ししたいと思いますので、ぜひ一つの考え方として参考にしてもらえると嬉しいです。